

平成16年10月13日

今後の都市間輸送対策について

- 都市間輸送対策検討委員会の主な検討結果 -

JR北海道では、今年3月に「都市間輸送対策検討委員会」を設置し、都市間輸送分野における鉄道の競争力を高めるための全社的な対応策を検討してまいりました。

検討にあたっては、都市間を移動されるお客様へのモニター調査（別紙）や、当社の駅などの現業機関からの情報を参考に、「お客様の視点で、量から質への戦略転換」をキーワードに、「快適性の向上」「利便性の向上」「速達性の向上」の観点から、半年間にわたって議論を重ねてまいりました。

これまでの委員会における主な検討結果は以下のとおりです。

なお、今後も引き続き、都市間輸送対策検討委員会において各種施策を検討してまいります。

1. 道内の特急列車の全面禁煙化

現在当社では、普通・快速列車のほか、特急において列車内全面禁煙とし、他の特急列車については分煙を図りお客様にご利用いただいております。

また昨今、受動喫煙防止に対する社会的要請が強まるとともに、お客様モニター調査においても、特急列車内での「たばこ」については「全車禁煙にすべき」「禁煙車両を増やすべき」などのご要望をいただいております。

こうした背景のもと、当社としては今後、他の特急列車につきましても「全面禁煙」を拡大する方向で検討してまいります。また、札幌駅など一部の駅で喫煙場所を整備してまいります。

2. 特急列車内の清潔で快適な衛生スペースの提供

当社ではこれまでも、快適な旅を楽しんでいただくため、車内トイレの洋式化など清潔なトイレの整備を進めてまいりましたが、お客様モニター調査においても同様なご要望を数多くいただいております。

今後、特急列車のトイレは洋式とし更に男子小用トイレを分離することとし、既存車両についても改造を進め、清潔で快適な車内衛生スペースの提供に努めてまいります。

3. 特急列車の所要時間のばらつき解消

当社では、特急列車の「スーパー化」などにより快適性と速達性の向上に努めてまいりました。しかしながら、各方面の特急列車は使用している車両によって性能に差があることなどから、同じ区間でも所要時間にばらつきがあり、お客様モニター調査でも「一層の時間短縮」が強く求められる結果となっております。

具体的な実施時期や方面等はこれからの検討となりますが、車両の取替を計画的に進めていながら、特急列車の「スーパー化」などによる所要時間の短縮・均一化に取り組んでまいります。

（方面別の検討）

- ・道東方面……「とかち」のオールスーパー化と「スーパーおおぞら」の増発
- ・道南方面……最高速度120km/hの「北斗」車両を130km/hに改造

4. 帯広～釧路間に「とかち」接続列車を試行運転

札幌～釧路間の特急の利用機会を拡大するため、今年の年末年始12月29日～31日と1月2日～4日の計6日間に、帯広駅で「スーパーとかち・とかち」と同一ホームで乗り継げる臨時特急「リレーとかち」を帯広～釧路間に2往復運転します。併せてこの列車でご利用いただけるお得なきっぷを発売します。

5. 海峽線の輸送改善

平成14年12月、新幹線『はやて』の運行開始にあわせ函館～八戸間に『スーパー白鳥』として789系電車を投入しましたが、その後、お客様のご利用が好調に推移していることから、更に11両増備することとし、輸送改善を検討してまいります。具体的な実施時期・運行体系等については、これからの検討となりますが、決まり次第お知らせします。

6. パーク&トレインの拡充

当社では「旅のトータルサービス」の実現をめざし、「駅までマイカー、駅から列車」という移動スタイルを提供するため「パーク&トレイン駐車場」を整備しご好評をいただいております。また、お客様モニター調査においても、鉄道をご利用いただけない理由のひとつとして「鉄道とのアクセスが不便」「自宅から駅への移動が困難である」ことなどがあげられており、自宅から駅へのアクセスが重要であると考えております。

今後も、より気軽に鉄道をご利用いただけるよう、道内主要拠点駅を中心に「パーク&トレイン駐車場」の収容台数の拡大を図り、「駅までマイカー、駅から列車」という移動スタイルへの転換を引き続き推進してまいります。

7. 都市間基本商品の認知度向上策

都市間を移動されるお客様向けに、お得にご利用いただけるような各種の割引商品をご用意しPRに努めてまいりましたが、お客様モニター調査においては、これらの割引商品をご存知でないお客様が思いのほか多く、また「割引やサービスのPR充実」のご要望が最も多くなっております。

一方、これらの商品内容についてご説明すると多くのお客様に「お得感」を持っていただけるとの結果も得られており、引き続き「出張の達人」キャンペーン等を通じ、「Rきっぷ」「Sきっぷ」など当社の基本となる商品の重点告知に努めてまいります。

8. 道内特急列車を乗り継ぐ場合の割安な特急料金設定

当社では現在、たとえば函館～釧路間のように2つの特急列車を乗り継ぎ、往復で利用される場合にお得な割引きっぷを発売しておりますが、お客様モニター調査でも「乗継割引の実施」のご要望をいただいております。

今後は、片道のご利用の場合においても割安な料金でご利用いただけるよう検討してまいります。